

異文化体験記

◎和歌山県職員による「異文化体験記」です。

皆さんこんにちは。中国・山東省に派遣されている宮本と申します。私は今年8月から中国・山東省の濰坊（いぼう）市政府で研修をさせていただいています。

濰坊市は山東半島中部に位置する人口927.72万人*、面積15,859km²の地方都市です。野菜の大産地であるとともに、木版年画（旧正月を祝うために飾る木版画）や凧（たこ）の街としても知られ、毎年4月に濰坊市で行われる国際凧祭りには、世界各地から参加者が集まり、個性豊かな凧が濰坊の空を彩ります。



【自転車専用レーンのある道路】

私が濰坊に来てまず驚いたのは道路が美しく整備されていることです。ゆったりした道幅のまっすぐに伸びる道路の傍にはプラタナスなどの街路樹が植えられ、円形交差点が多く導入されています。主要道には自転車専用レーンが設けられているなど、自転車でも走りやすいよう配慮もされています。

また街の至る所に公共自転車のステーションが設置され、一時間なら無料で利用できるとあって利用者は非常に多く、公共自転車は重要な市民の足になっています。私も平日は職場まで公共自転車を利用して通勤し、休みの日には公共自転車で買い物に行ったり公園や博物館に出かけたりするなど、とてもお世話になっています。

今、濰坊では都市開発が活発に行われていますが、景観や住みやすさ、環境に配慮したまちづくりには見るべきものが多くあります。

また、山東省の他の地域でもそうでしたが皆さんとても親切です。バスにお年寄りや妊婦さん、赤ちゃんを抱っこした人などが乗車してくると、座っていた人たちがこぞって席を譲る姿はいつでも感じます。



【公共自転車のステーション】

濰坊市は、現代的な街にぬくもりある伝統文化とあたたかい気遣いが息づく魅力ある都市です。

*2015年12月31日現在のデータ

〈宮本実穂（平成28年8月より山東省濰坊市政府で研修中）〉